

1. プロジェクト名：かつらぎ町グリーンパークプロジェクト

2. コンセプト 行ってよかった、

住んでよかった かつらぎ町！！！！

3. 目的

- ・健康で安心して生活できるような場所の整備
- ・安心して暮らすことができるように災害時の防災拠点を整備
- ・施設管理や公園利用などを通じて地域コミュニティ活動の促進
- ・かつらぎ町内外から人を招き（目標：年間来場者数64,000人）、かつらぎ町の活性化に繋げる。

4. 内容

I. 元気創造の拠点

①概要

元気創造の拠点として、かつらぎ町内の小学校・保育所・幼稚園の運動場、平和公園等を芝生化します。

芝生は、景観の向上、環境教育の実践、芝生利用及び管理を通じて地域の輪・コミュニティ向上につながります。

②効果

- ・土や砂が飛び散らない
- ・エコである
- ・転んでも怪我をしにくい
- ・積極的に野外に行くようになり、体力向上

③費用

場所	面積 (㎡)	初年度設備費 (1㎡あたり2,850円)	維持管理費 (年間1㎡あたり100円)
妙寺小学校	10,404	29,651,400	1,040,400
笠田小学校	8,069	22,996,650	806,900
大谷小学校	7,475	21,303,750	747,500
渋田小学校	2,645	7,538,250	264,500
三谷小学校	3,526	10,049,100	352,600
四郷小学校	2,575	7,338,750	257,500
平和公園	1,000	2,850,000	100,000
合計	35,694	101,727,900	3,569,400

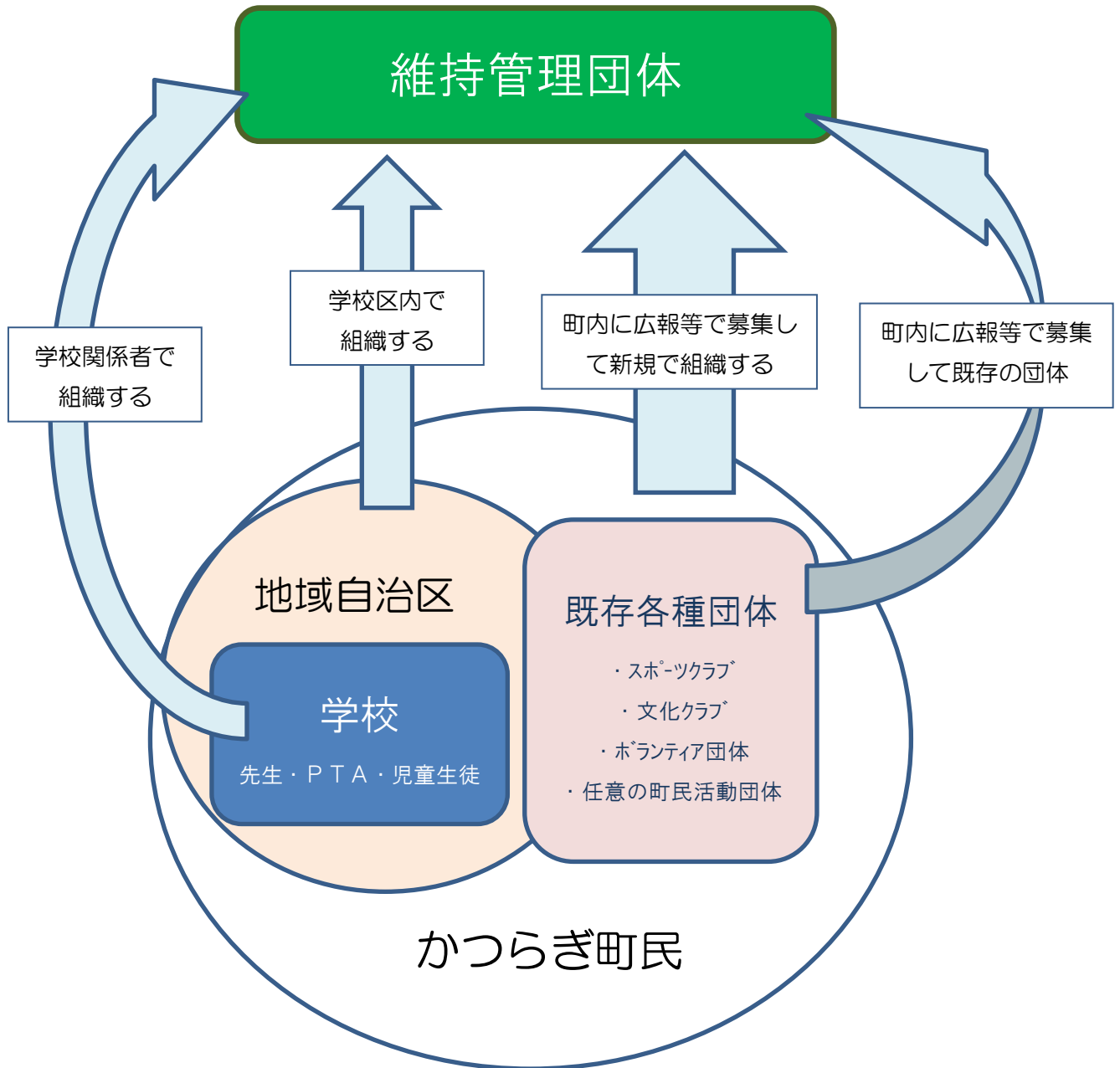
※単価については、磐田方式を参考

④補助金等

- 和歌山県屋外運動場芝生化促進事業
- toto 助成金

⑤問題点：地域の維持管理団体・組織が必要

維持管理団体組織の例



Ⅱ. 災害に強いまちづくりの拠点

①概要

健康づくり・スポーツ活動の拠点、コミュニティ活動の展開の場として、地域の町民に親しまれる空間を創造するとともに、サブ災害対策本部機能を有する多機能複合施設との一体性を有し、魅力ある季節感あふれる空間を創造。

②効果

平常時

- ・季節感あふれる景観
- ・県内外の各種大会（ラグビー、サッカーなど）
- ・各種イベント（防災訓練）

緊急時

- ・一時避難所となる広場の確保（ヘリポート、仮設住宅など）
- ・防災関連施設の設置
（災害用トイレ、災害用備蓄倉庫、かまどベンチ、防災パーゴラなど）

町の活性化

ア). 都道府県をまたいで試合やイベントが日常的に開催される。

- ・サッカーの場合

県外や県内遠方の人（選手・スタッフ・応援保護者）が訪れる。⇒かつらぎ町の活性化

“どれくらいの人か？”

子どもの大会）1チーム選手：16名 スタッフ：2名 保護者：32名=1チーム計50名

16チーム参加 = 約800名/1日 自動車：1チーム約20台

中学～大人の大会）1チーム選手：20名 スタッフ：2名 応援：8名=1チーム計30名

8チーム参加 = 約240名/1日 自動車：1チーム約10台

土日祝：約120日+夏休み：約30日+冬休み：約10日+春休み：約10日

=合計約170日

170日（他府県の人工芝サッカー施設の稼働率は99%以上）の内で

子どもの大会 約70日×800名=56,000人

中学～大人の大会 約100日×240名=24,000人

年間来場者数=約80,000人×0.8（見込み）=64,000人

イ). 世界規模のスポーツイベントの誘致・開催

W杯・オリンピック等の世界大会・国際試合の事前キャンプ地

③費用 ※造成費及び用地費含まない

【整備イニシャルコスト】

- ・クラブハウス=7,500万円
(toto=6,000万円、JFA=1,500万円)
- ・人工芝ピッチ工費=10,000万円
(toto=6,000万円、JFA=1,500万円) 700万円不足
- ・クレーピッチ工費=2,000万円
(toto=0円、JFA=0円) 2,000万円不足
- ・夜間照明施設工費=4,500万円
(toto=3,000万円、JFA=1,500万円)

総工費 2億4,000万円【概算】の内 2億1,300万円まで
toto 補助金&日本サッカー協会補助金を充当
不足分 2,700万円+用地代を和歌山県とかつらぎ町等で負担
※JFA補助金選定漏れの際は、不足額 10,200万円

【施設修繕費積立について】

- ・ロングパイル人工芝耐用年数→約10年
- ・張替工事費用→約5,000万円
- ・5,000万円÷10年間=500万円
※年間500万円の修繕費積立が必要

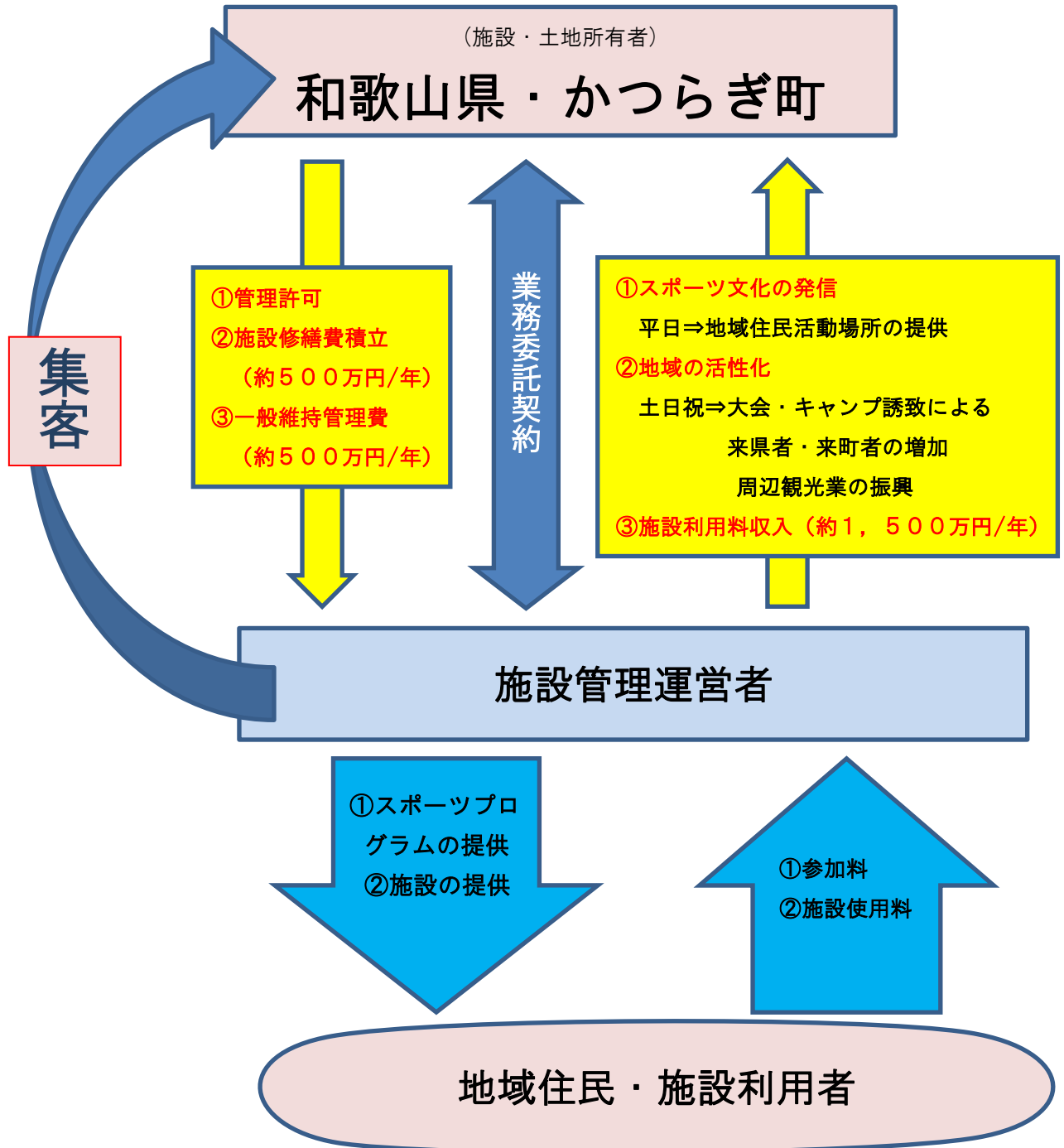
【一般維持修繕費(1年間概算)について】

(単位：円)

科目	金額
人件費	0
消耗品費	200,000
電気代	3,000,000
水道代	300,000
修繕料	200,000
通信運搬費	100,000
委託料	1,200,000
合計金額	5,000,000

委託料：施設総合管理・清掃・メンテナンス等

【整備後ビジネスフロー】



【施設収入について】

- ・レンタルコート利用料収入（別紙以外コート利用料収入予測参照）

使用料 2,000円/時間 照明使用料5,000円/時間
稼働率 9:00~16:00⇒ 平日の昼平均10%前後、土日祝日90%
17:00~22:00⇒ 平日及び土日祝日の夜間90%

利用収入合計 13,159,000円/年

（内夜間照明利用料収入8,435,000円/年）

※（施設修繕積費積立500万円/年）＋（一般維持管理費充分算出500万円/年）

【夜間照明施設の必要性】

- ・耐久性に優れ、連日長時間の使用が可能なロングパイル人工芝を最大限に稼働させるためには、夜間照明施設は必須
- ・夜間照明利用料収入が年間800万円以上、差引300万円見込まれ建設費用約3,000万円を10年以内に回収することが可能

（※別紙以外コートワークアウト資料参照）

④場所について

かつらぎ町河南の左岸農道沿い

- ・三谷街道と連結することで丹生都姫神社へのハイキングイベント等に活用でききる。
- ・紀の川の水害による沿い集落住民の避難所にもなる。
- ・施設全敷地買収しなければならない。
- ・左岸農道の道の駅的なものにして、地域住民もしくはJA等の物産販売所にもできる。

紀北青少年の家

- ・紀北公園としての充実につながる。
- ・京奈和高野ロインターからも近い。
- ・県外からの合宿での集客がある。
- ・敷地については和歌山県名義で少しの買収が必要になる場合がある。
- ・紀北川上北選果場からも近く、紀北青少年の家（敷地内でできない場合は併設別棟）でJA等の物産販売もできる。